

研究協力をお願い

JA岐阜厚生連中濃厚生病院では、下記の臨床研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は、下記のお問い合わせ先までお願いいたします。

なお、研究への参加をお断りになった場合でも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究名：グラム陰性桿菌の抗菌薬に対する耐性化に関する研究

1. 研究対象者および研究対象期間

2025年9月1日から2028年3月31日までに当院を受診して、臨床検査として細菌検査を施行された患者様

2. 研究目的・方法

大腸菌を含むグラム陰性桿菌はヒトに種々の感染症を生じますが、近年抗菌薬に対する耐性化が大きな問題となっています。この研究では、患者様の検査材料から検出されたグラム陰性桿菌の抗菌薬に対する耐性化について調べることを目的としています。

研究は以下の手順で実施いたします。

- ① JA岐阜厚生連中濃厚生病院において、患者様の検査材料から検出されたグラム陰性桿菌について薬剤感受性を調べて菌株を保存する。
- ② 保存した菌株は、岐阜医療科学大学において抗菌薬を用いた耐性化実験と遺伝子増幅法（PCR法）によって薬剤耐性に関与する遺伝子を調べる。
- ③ 薬剤感受性試験結果と薬剤耐性に関与する遺伝子の検出結果について総合的に解析することによって、抗菌薬に対する耐性の原因を明らかにする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

3. 研究に用いる試料・情報の種類は以下の通りです。

年齢、性別、検査材料名、臨床検査データ、細菌検査結果（塗抹検査結果、同定菌名、薬剤感受性検査、耐性因子検査）、抗菌薬の投与状況、感染症に関する患者情報（発熱、身体所見など）

4. 個人情報の取り扱い

本研究は個人情報の取り扱いに関して、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」及び適用される法令等に従い、本研究計画書を遵守して実施します。お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては、仮名加工の処理を行った後に対照表にまとめて厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。情報を取り扱う研究者は、研究情報を取り扱うコンピューターをパスコードで管理し、情報の紛失や遺漏等を防止します。また、同意の撤回（中止の申し出）があったデータ等については、登録時からすべてのデータを破棄します。

5. お問い合わせ先

JA岐阜厚生連中濃厚生病院

検査科

桂川 晃一

TEL：0575-22-2211

岐阜医療科学大学

保健科学部 臨床検査学科

中山 章文

TEL：0575-22-9401